

2021 年度事業計画

【2021 年度の基本方針】

2021 年度は、公募事業である「日本ジュエリー展」の募集及び審査年にあたる。募集方法、審査方法、審査員等を決定し、年度後半には募集、審査を行う。

育成事業の JJDA 講座は、従来の講師による講演型のセミナーに加え、若年層へジュエリーデザインの普及啓発を図る体験型の講座を各地で開催する。Zoom や WEB を活用したオンラインセミナーを複数回実施することで、幅広い参加者に知識や技術の習得機会を提供する。

展示・発信事業では、会員による展覧会を開催するとともに、本年度も情報発信としてリニューアルした公式 HP および SNS 等を使い迅速な情報発信方法を実施し、また、来場者へのアンケート等を活用し事業内容を充実させ、継続して全国で実施する各事業への参加者の増加、普及を図る。

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業（公益目的事業 1）】

1964 年創立当初から概ね隔年で 31 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

2021 年度は、募集と審査を行う「準備年度」である。翌年度は、応募の実作品の中から各賞の作品を選び表彰し、さらに入選作品展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

(1) 応募要項発表・審査・表彰

2021 年秋に「第 32 回公募 2022 日本ジュエリー展」の応募要項の発表を行う。ホームページ掲載および SNS での発信をはじめ全国諸機関への告知、プレスリリースの実施等により、全国へ広く公募を行う。

応募締切りを 2022 年 3 月初旬とし、3 月中に審査を実施して、終了後速やかに応募者に審査結果を通知する。受賞作品については、プレスリリースほかホームページで発表する。

- ・主旨：「ジュエリーの持つ役割は時代とともに進化していきます。新しいデザインや素材の魅力、それを引き出す確かな技術は、一般的な装身具の枠を超え一つの文化として人の心を飾ります。心を動かすジュエリーの可能性を秘めた作品を公募します。」

・応募内容及び表彰

「第32回公募2022日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」

応募部門：・一般部門 ・under26部門(26歳以下の応募者対象) ・JJDA会員部門 ・海外部門(未定)

応募作品：実作品

表彰：大賞／優秀賞／一般部門賞／under26部門賞／JJDA会員部門賞／審査員特別賞／奨励賞／他

(2) 展示発表の諸準備

- ・2022年度に実施する受賞作品及び入選作品の展示方法を検討し準備を行う。

(3) 主催、後援等

- ・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
- ・後援(申請予定) 経済産業省、文化庁、公益財団法人、公益社団法人、一般社団法人等
- ・協賛 本事業に協賛協力する各企業、学校法人等

【II ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業 2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュ

エリーの歴史、文化、海外事情に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。

また、各展覧会会場に於いてアンケート調査を実施し、これからの日本のジュエリーのあり方を探っていく。国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

(1) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史をグローバルに研究する専門家を招いて講演会及び初心者向け体験講座並びに技法の実技講座を行う。

①JJDA 講座 2021 開催

・「オリジナルジュエリーを生むテクニック・地金編」

会期 2021年6月～2022年2月で検討中 会場 Zoomにて実施 講師 三木稔氏 (JJDA 正会員)
募集人数 70名

・写真美術館学芸員によるジュエリーに関する講演

会期 2021年6月～2022年2月で検討中 会場 Zoomにて実施 講師 関昭郎氏 (写真美術館 学芸員)
募集人数 50名

・「ジュエリーデザイナーのための法律講座・2nd ステップ」

会期 2021年6月～2022年2月で検討中 会場 Zoomにて実施 講師 新田真之介氏 (弁護士)
募集人数 50名

②JJDA 講座 2021 全国各地域における実技・体験講座

・東日本地区 開催予定 (検討中)

会期 2021年10～11月 会場 検討中 講師 検討中
募集人数 15名

・中部地区 テクニカルワークショップ「蜜蠟による引目技法」

会期 2021年8月29日 会場 Zoomにて実施 講師 荒川芳秋氏 (JJDA 正会員)
募集人数 15名

・近畿地区 技術実技講習会

会期 未定 会場 南船場会館 (大阪市) 講師 未定
募集人数 25名

・西日本地区 「卒園コサージュ作り体験講習会」

会期 2022年1月頃 会場 本井手みのり保育園 (熊本県荒尾市) 講師 JJDA 正会員
募集人数 20名 (園児)

(2) 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性を啓発する。

①事務局保存の創作保全に関する資料「ジュエリー110番」の見直しと改訂版の作成

②ホームページ上において公開し普及推進する (継続)

③メルマガ等にて継続的に記載し啓発する

日本デザイン団体協議会 (D-8) / JDM 委員会への共同参加事業としてジャパンジュエリーデザインについてジュエリー史を調べ、過去の優れたデザインを研究し、資料作りを進める

(3) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、交流を図り、国際相互理解の促進に努める。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し訴求活動を行う。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

① 展覧会 2021 年のジュエリーアート「風のロマン」

JJDA に所属する正会員、名誉会員による展覧会を実施する。会期内でギャラリートークを開催する。

会期 2021 年 11 月 30 日～12 月 5 日 会場 代官山ヒルサイドテラス E 棟ロビー

出品者 80 名

② 中部地区 「コンテンポラリージュエリーを創るワークショップ」 JJDA ホームページ web 展示会

2020 年度開催「コンテンポラリージュエリーを創るワークショップ」の研究内容の展示会を JJDA ホームページ内に設置し、講師の浅井氏を迎えたギャラリートーク（全 1 回）を Zoom にて行う。

会期 2021 年 10 月～（4 週間） 会場 JJDA ホームページ内 出品者 14 名

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

① スーザン・ピーチ氏によるコンテンポラリージュエリーに関する講演会

ドイツと日本を拠点に活動するコンテンポラリージュエリーアーティストでアート作品制作とアートプログラム SCHMUCK2 の活動を国際的にしているスーザン・ピーチ氏による講演会を開催する。オンライン配信を実施予定。

会期 2021 年 10 月～11 月 会場 未定 講師 Susan Pietzsch 氏

参加者 30 名

(3) 情報発信

機関誌及びホームページ、SNS によりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業のインフォメーション、各 JJDA 講座、展覧会等の開催に関する情報を提供、発信する。

① 機関誌「JJDA2022 No.56」A4 版 頁数 未定 2022 年 1 月発行

② 本年 3 月にリニューアルした JJDA ホームページの内容を充実すると共にインスタグラム他 SNS を活用する

③ ホームページ、各種 SNS 運営にあたりセキュリティ対策の勉強会を実施

④ ジャパンジュエリーフェア 2021 において協会広報ブースを出展し、協会事業を公知する

⑤ プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化

⑥ ジュエリーデザインに関するデータベース構築

⑦ JJDA パンフレットの改訂 和文・英文

【Ⅳ その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

- ①関東地区 「翡翠原石館」見学会（東京）
- ②近畿地区 「国立工芸館」見学会（石川）、「造幣局」見学会（大阪）
- ③活動促進 「Zoom 体験会」（東京）、忘年会（東京もしくは Zoom にて）
- ④会員相互の交流の場をつくる

(2) 会報「FROM JJDA」及び「メルマガ from JJDA」発行 年12回 事務局編集・発行

各委員会（部会）、事務局よりの事業準備及び報告情報や展覧会情報等を会員へ速やかに伝える。

(3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①日本デザイン団体協議会（D-8）への参加

D-8 運営会議、デザイン保護研究会、及びジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

【V 管理等】

(1) 会議開催

①総会開催 2021年5月

②理事会開催 2021年4月、7月、10月、2022年1月

③部会長会議・事業部会合同会議・委員会及び部会会議

・全国5地区部会及び事業等の各部会部会長による会議開催。年1回

・各委員会及び各担当による会議開催。計 年約60回

(2) 諸規程の整備

(3) 会員情報管理（継続）

(4) 会員章碑の作成（継続）

(5) 協賛店の整備と拡大

(6) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(7) 一般への情報提供サービスの検討

(8) 予算書・決算書作成

(9) 素材表記の検討・精査

(10) アーカイブの整備

(11) 会費納入の徹底

以上